

Canon

T50



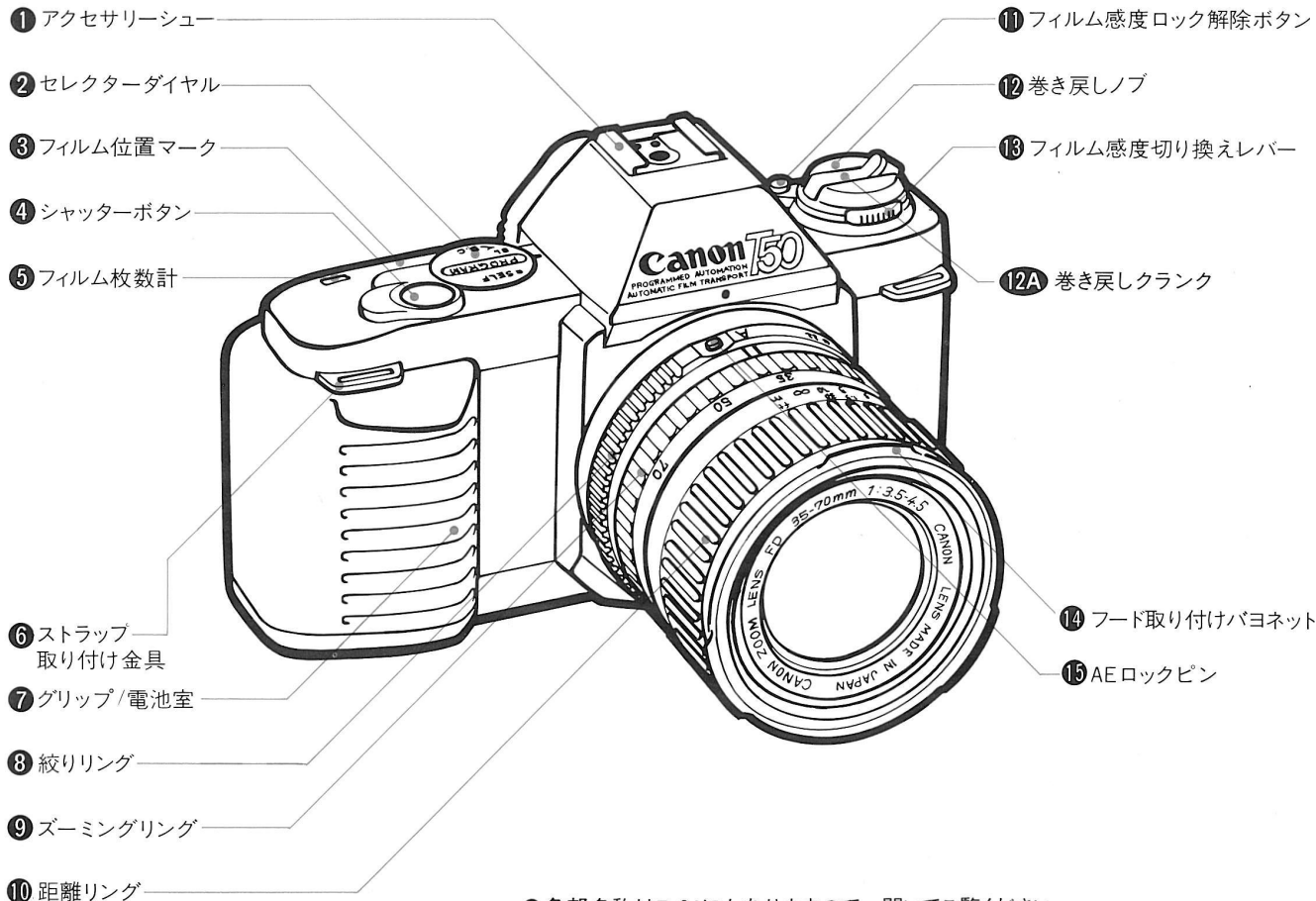
J

日本語版

使用説明書



各部名称



●各部名称はP 34にもありますので、開いてご覧ください。

ご挨拶

キヤノン製品のお買いあげありがとうございます。
キヤノンT50は高度な電子技術を背景として誕生したプログラムAE(Automatic Exposure)一眼レフカメラです。

キヤノンT50は露出の自動化に加えてワインダーを内蔵していますのでフィルムの自動装てん、自動巻き上げを可能としています。さらに自動化はカメラだけでなくストロボにまでおよんでいますので、初めての方でもシャッターチャンス^①を的確に捉えたすばらしい写真を撮ることができます。しかし優れた機能、操作性も正しい使い方がなければ、その性能を十分に発揮できません。ご使用にあたってはカメラをお手にとって、よく使用説明書をお読みいただきご理解くださるようお願い致します。



ストロボ撮影まで含めてプログラム化を達成

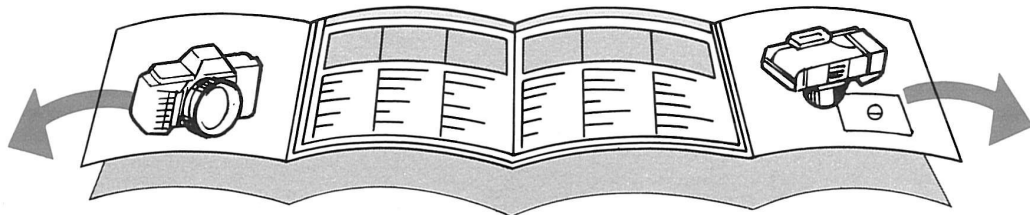
プログラム AE 一眼レフカメラとは明るさに応じて適正露出になるようにシャッタースピードと絞り

の組み合わせが決められている自動

露出一眼レフカメラのことをいいます。

キヤノンT50のプログラムAEは単にカメラ本体だけでなく、専用ストロボまでも含めてトータルでプログラムAE化を実現しました。従って通常撮影だけでなく暗い室内や夜間においてもカメラが露出のすべてを自動セットしますので、面倒な操作は一切必要ありません。

キヤノンスピードライト 244T をあわせてお使いいただければ、幅広いプログラム AE 撮影をお楽しみいただけます。

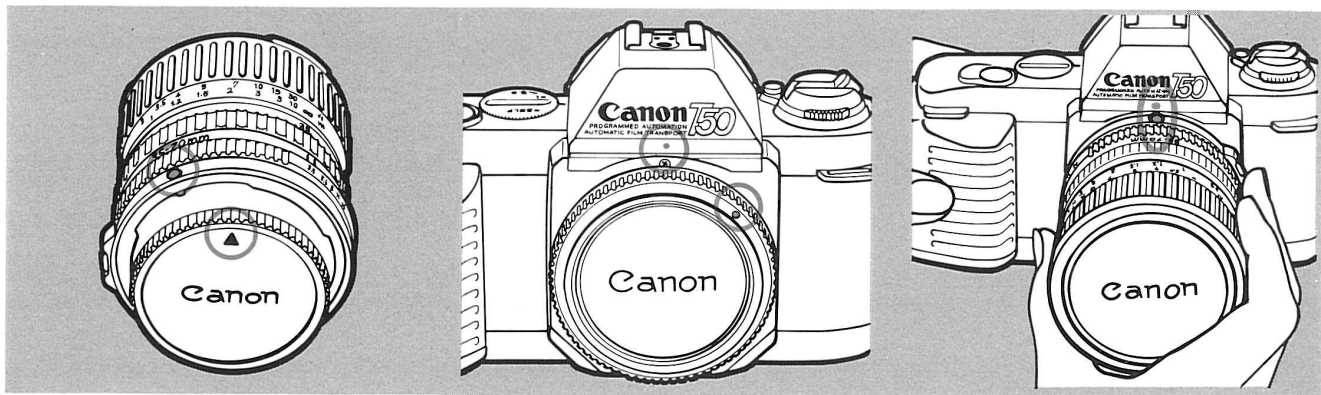


●表と裏の各部名称を図のように開いてご覧ください。

目次

	ページ
1. レンズの着脱	6、7
Aマークのセット	8
2. 電池の入れ方	9
電池のチェック	10
3. フィルム感度の合わせ方	11
4. フィルムの入れ方	12
5. カメラの構え方	15
6. ピント合わせ	17
7. FD35-70mm F3.5-4.5について	18
8. セルフタイマー撮影	22
9. フィルムの巻き戻し	24
10. 専用ストロボについて	25
11. ストラップの扱い	26
12. 主な関連アクセサリ	27～
13. 手入れと保管	30
14. 主要性能一覧表	32、33

1. レンズを取り付けます



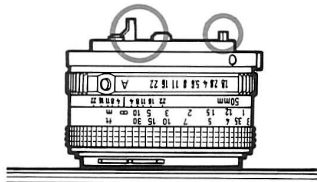
6

1) ▲印と●印を合わせるように底蓋を回して外します。取り付けるときは▲印と●印を合わせ、底蓋を時計方向に回します。

2) ボディキャップを回して外します。取り付けるときは赤マークと赤マークを合わせて回します。

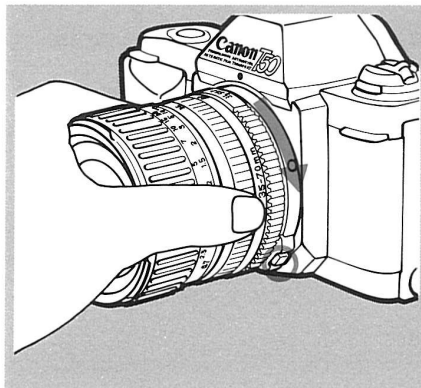
3) レンズを取り付けます。カメラとレンズの赤マークを合わせて押し付けます。

FDレンズは各種の信号ピンを内蔵していますので、レンズを取り外したときはこれらの信号ピンやレンズ面を傷つけないように、取り付け面を上向きにして置いてください。

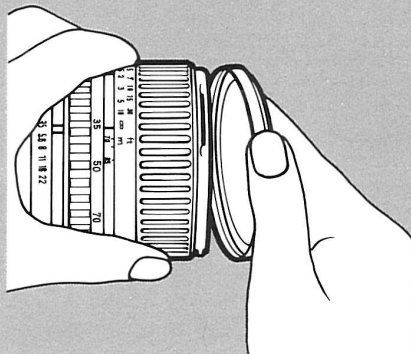


FDレンズ以外の下記のものは使用できません。(AE切り換えピンを持たないもの)。

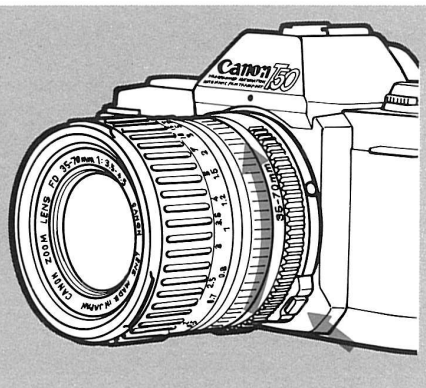
FLレンズ、TS35mmF2.8、フィッシュアイ7.5mmF5.6、レフレックス500mmF8、AE切り換えピンを持たない中間チューブ類(ペローズ等)マクロフォトレンズ20mm F3.5および35mmF2.8。



4) レンズ全体を完全に止まるまで回します。完全に取り付くとカチッという取り付け音と同時に、丸印のレンズ取り外しボタン⑰が飛び出ます。



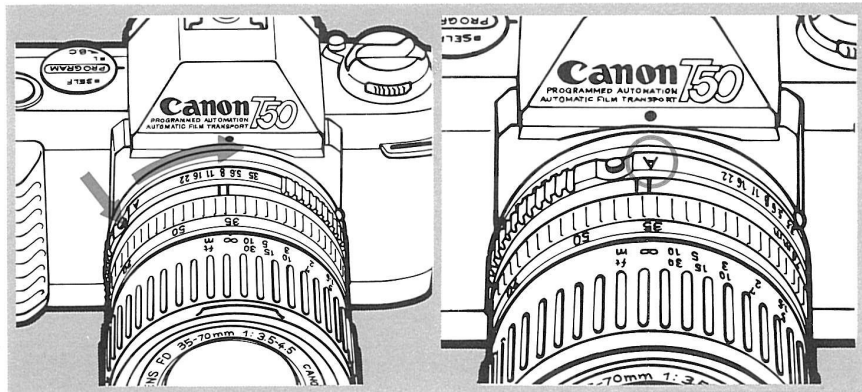
5) キャップを図のように引っ張って外します。
50mm標準レンズの場合は、キャップ両側の爪を押して外します。



6) レンズを外すときはレンズ取り外しボタンを押しながら反時計方向一杯に回します。

文章中の番号はカメラの操作部分を確認するためのものです。
なお、カメラの各部名称はP. 3と34にあります。

2. レンズをAマークに合わせます。



8

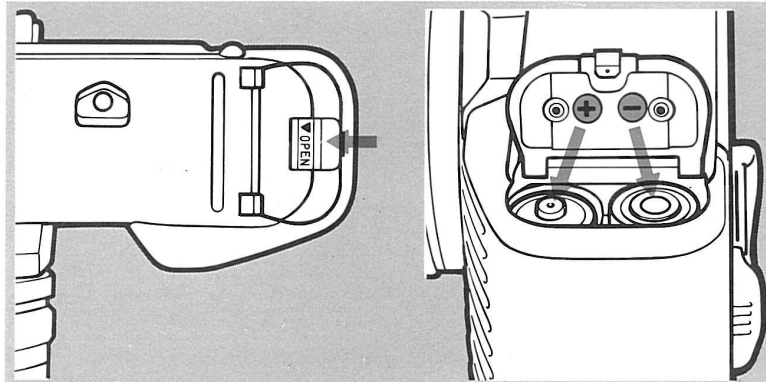
- 1) Aマークが外れているときは、AEロックピン⑮を押しながら絞りリング⑧を回します。
- 2) 図のように指標にAマークを合わせます。

Aマークに
合わせましたか。
合わせないと、
きれいな写真が
撮れません。



Aマークにセットしないと適正露出は得られません。Aマークが外れていると軽くシャッターボタン④を押したときにファインダー内でMマークが点滅して警告します。Aマークが外れているとシャッタースピードは常に1/60秒となります。

3. 電池を入れます。



1) 電池室蓋②の爪を押して、蓋を開けます。

2) 電池を入れます。
電池室蓋裏の \oplus \ominus に従い、電池の向きを間違えないようにして入れてください。向きを間違えるとカメラは動きません。

撮影可能フィルム本数

温度	電池	アルカリマンガン (AM-3)	マンガン (SUM-3)
	常温(20℃)		75本 50本
低温(-10℃)		9本 6本	4.5本 3本

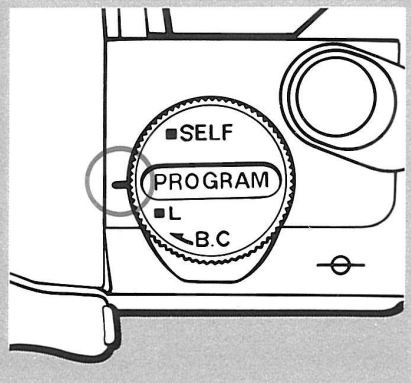
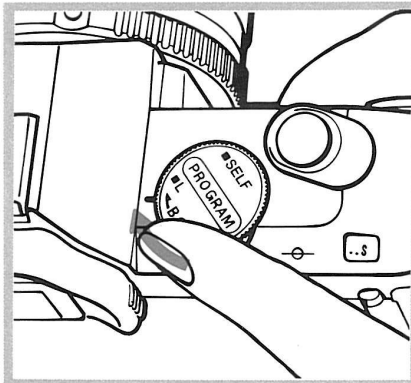
(データ)上段は24枚撮り、下段は36枚撮り

電池は単3型アルカリマンガン、マンガン電池をお使いください。

電池をカメラに入れるときは、電池接点の汚れや指紋をよく拭取ってください。そのまま入れると腐食の原因となることもあります。

- Ni-Cd電池は使用できません。
- 長期間使用しないときは電池を抜き取って保管してください。

4. 電池のチェックとセクターダイヤル



10

1) セクターダイヤル②をB. C (バッテリーチェック)方向に回します。

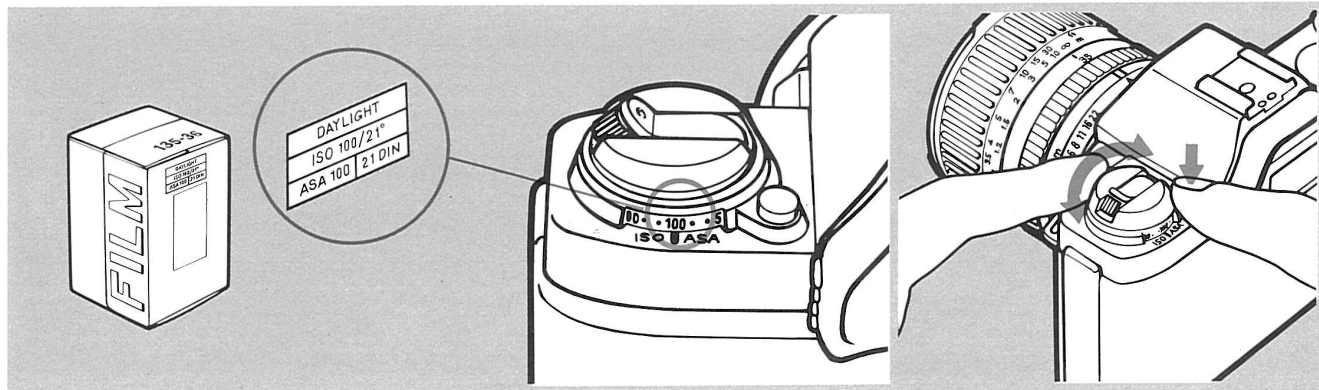
2) 電圧が十分にあれば規則正しい電子音がし、電圧が低下すると電子音はしません。

3) 電池チェック後はセクターダイヤルをPROGRAMにセットします。

セクターダイヤルは通常撮影ではPROGRAMをセットしておきます。

SELFはセルフタイマー撮影位置です。なお、Lは使用しないときに不用意な電池消耗や無駄写しを防ぐためのセット位置です。

5. フィルム感度を合わせます。



1) フィルムの箱に書いてある感度数字ISOをフィルム感度表示窓に合わせます。

2) セットするときはフィルム感度ロック解除ボタン⑪を押しながら、フィルム感度切り換えレバー⑬を回します。

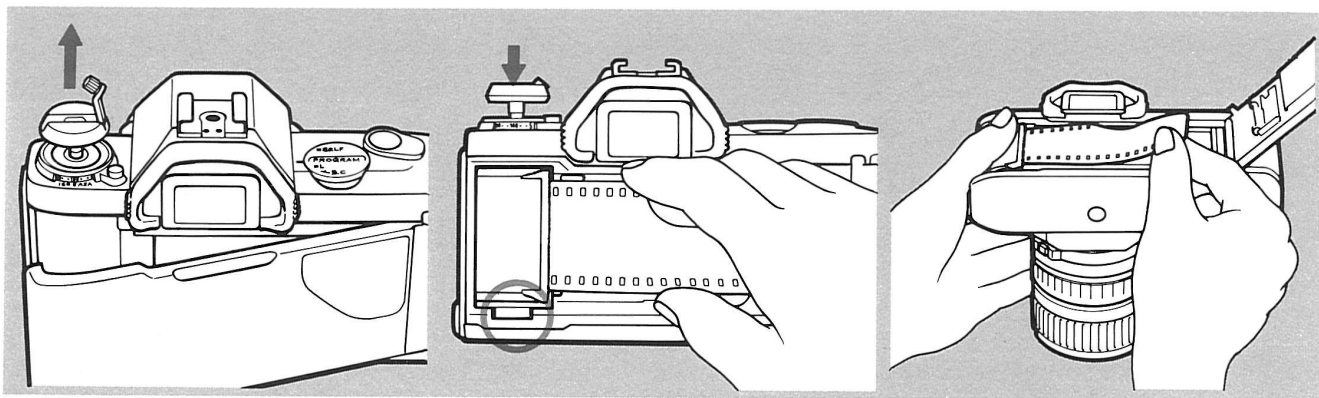
フィルム感度のセットを忘れると、きれいな写真が撮れません。



感度数字は次のようになり、中間の点は()内の感度数字になります。

(32) (40) (64) (80) (125) (160) (250) (320) (500) (640) (1000) (1250)
ISO 25 ・ ・ 50 ・ ・ 100 ・ ・ 200 ・ ・ 400 ・ ・ 800 ・ ・ 1600

6. フィルムを入れます。



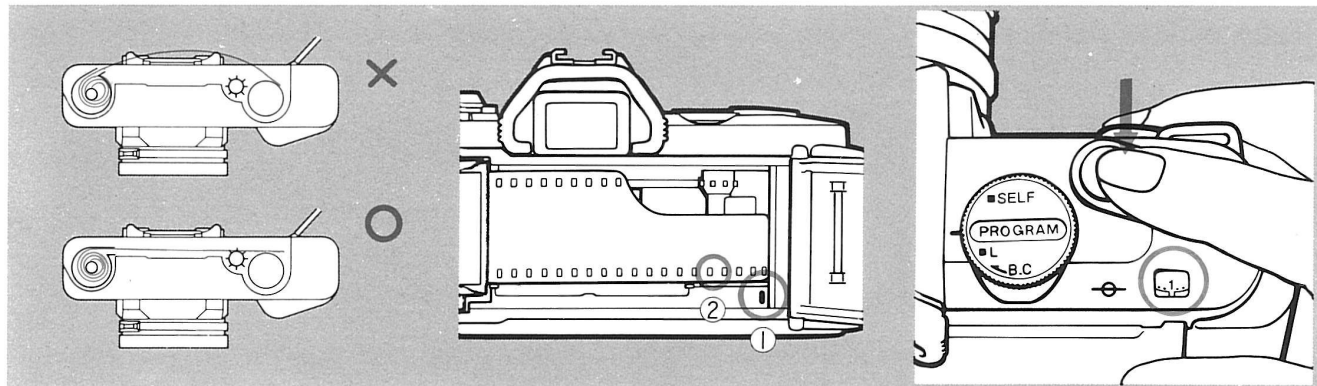
12

1) 巻き戻しクランク 12A を起こし巻き戻しノブ 12 を強く引っ張って裏蓋を開けます。

2) フィルムを入れて巻き戻しノブを押し戻します。戻らないときはノブを軽く左右に回してください。

3) カメラを倒さないように、図のように左手でカメラとフィルムを押しえながら右手でフィルムを引き出します。

湿度の高い場所では、フィルムはカメラに入れる直前にフィルムパッケージから取り出してください。放置したフィルムを入れると、フィルム切れなどを起こすことがあります。



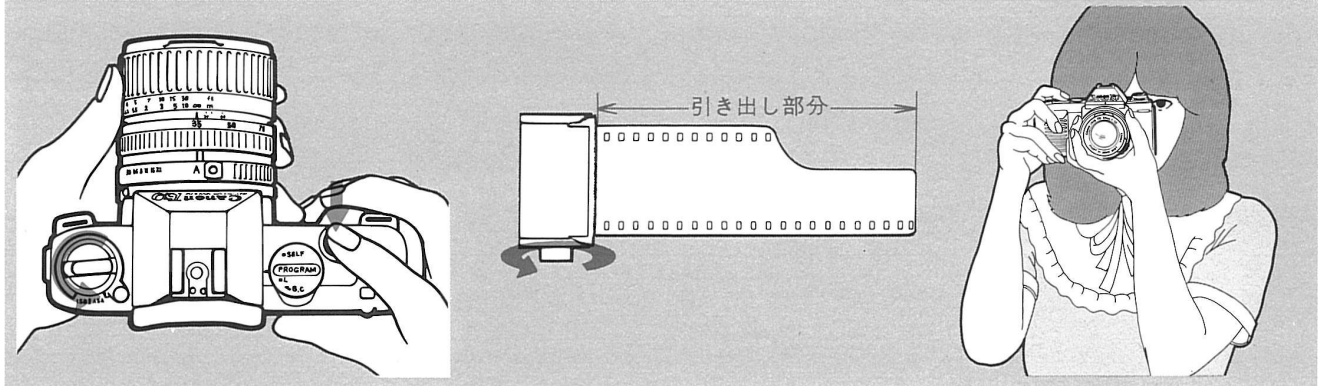
その際、フィルムがたるまない様にします。

4) ①フィルム先端がオレンジマークに合っていること②スプロケット(歯車)にフィルムの穴がかかっていることを確かめ、裏蓋を押しつけて閉じます。

5) シャッターボタン④を押し続けます。フィルム枚数計⑤が1になると自動的に止まります。

- 空送り時は適正露出は得られません。
- シャッター幕は非常に高い精度を必要とするため、絶対に手を触れないでください。

1枚撮りと連続撮影



14

●フィルムの巻き上げに連動して巻き戻しノブが回ればフィルムは正常に送られています。

●フィルム引き出し部分が特に長く出ているものがありますが、そのようなフィルムはパトローネ（フィルム容器）に少し巻き戻しオレンジマークの位置に来るように長さを調節してください。

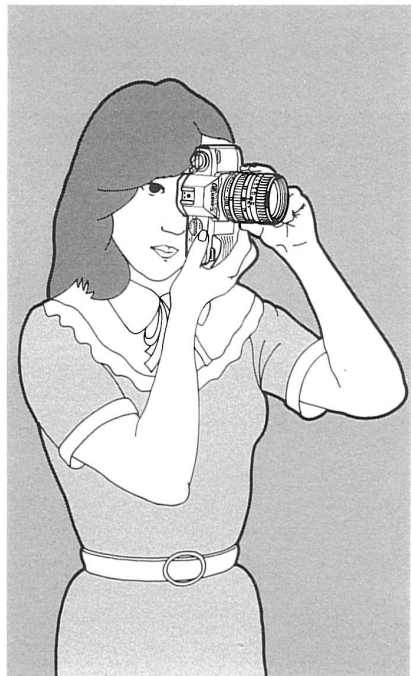
カメラのフィルムは巻き上げ状態になっています。

1枚撮りの場合はシャッターボタンを押してから、速やかに指を離してください。押したままにすると連続撮影となります。

空港でのX線検査にご注意ください。

●フィルムはカメラに入っている場合でも、X線による感光は防止されませんので、フィルムの入ったカメラであることを検査官に伝えX線の照射を避けてください。

7. カメラの構え方




●縦位置に構えたとき、巻戻しノブを押えついたり、巻戻しボタンを不用意に押さないようご注意ください。



シャープな写真を撮るためには、カメラをしっかりと構えてください。

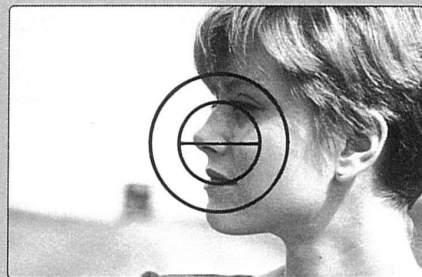
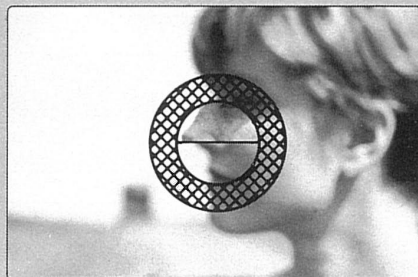
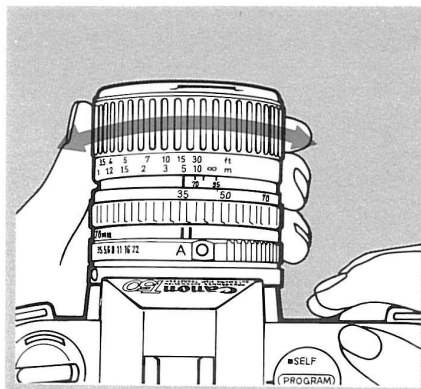
- 1) カメラを手のひらで支えるように持ちます。
- 2) カメラを持つ手のひじを体につけます。他の一方のひじは楽にしてください。
- 3) カメラを額につけるようにして、ファインダーをのぞきます。
- 4) 体を斜めにして足を開き気味にします。



構え方には決まった方法はありませんので、ご自分に合った方法を見つけてください。構え方の練習は鏡の前で行うと効果的です。なお、シャッタースピードが遅くなる暗い場所では、建物、椅子、テーブル等を利用して構えるのも一つの方法です。



8. ピントを合わせます。



1) レンズの距離リング⑩を回しながら、ファインダー内でピントを合わせます。

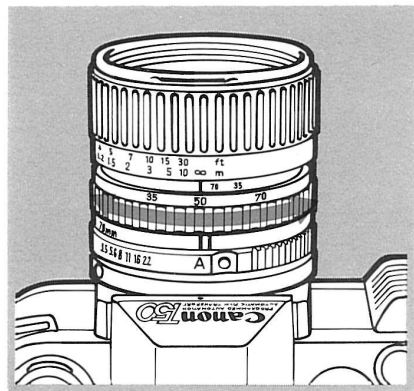
(ニュースプリットイメージプリズム⑳で合わせるとき)

中央にある上下に分割された像が一致すれば、ピントの合った状態です。

(マイクロプリズム㉔/マット㉕で合わせるとき)

マイクロプリズムでは像のチラつきが消えて、はっきりと見えたときがピントの合ったときです。マットでは像が最も鮮明になったときがピントの合ったときです。

- 上のファインダー図は説明を分かりやすくするため実際のカメラより、中央の測距部分を拡大してあります。



18

ズームリング⑨を回せば、撮影位置を変えずに写したいものの大きさを瞬時に変えることができます。従って写したいものを素早く捉えることができます。



狭い室内で、後へ下がれないようなとき、戸外で広い範囲を写したいときなどに広角にすると便利です。(写真は広角35mmの範囲です)



私達が目を動かさなくて何気なく見る範囲がほぼ50mmレンズの写す範囲です。(写真は標準50mmの範囲です)

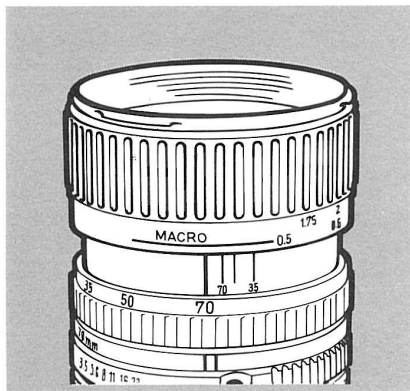
ズームリング上の数字はおおよその焦点距離位置を示します。広角35mm、標準50mm、望遠70mmのみを目盛ってありますが、目盛中間も使えます。



近寄ることのできないものを大きく写すとき、人に気づかれずに離れたところから写したいときなどに望遠にすると便利です。

(写真は望遠70mmの範囲です)

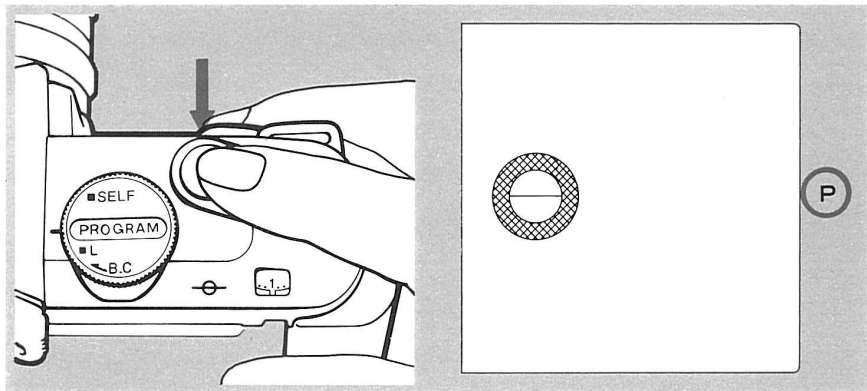
マクロ撮影



距離リングをマクロ域(黄線)に回せば草花、昆虫、小動物などを大きく写すことができます。

距離リングをマクロ端(黄線の突き当たり)にし、ズームリング⑨を70mmにしたときが最大撮影可能範囲(18cm×12cm・約B5判)となり、フィルム画面一杯に写ります。

9. ファインダー内で露出を確かめます。



20

1) シャッターボタン④を軽く押してファインダーの表示をみます。右側にプログラム撮影状態のPが現れます。Pが点滅しなければ撮影してください。Pが点滅したときはご注意ください。

1. 遅い点滅(2回/秒)……シャッタースピードが $\frac{1}{30}$ 以下になると手振れ写真を警告して、点滅します。

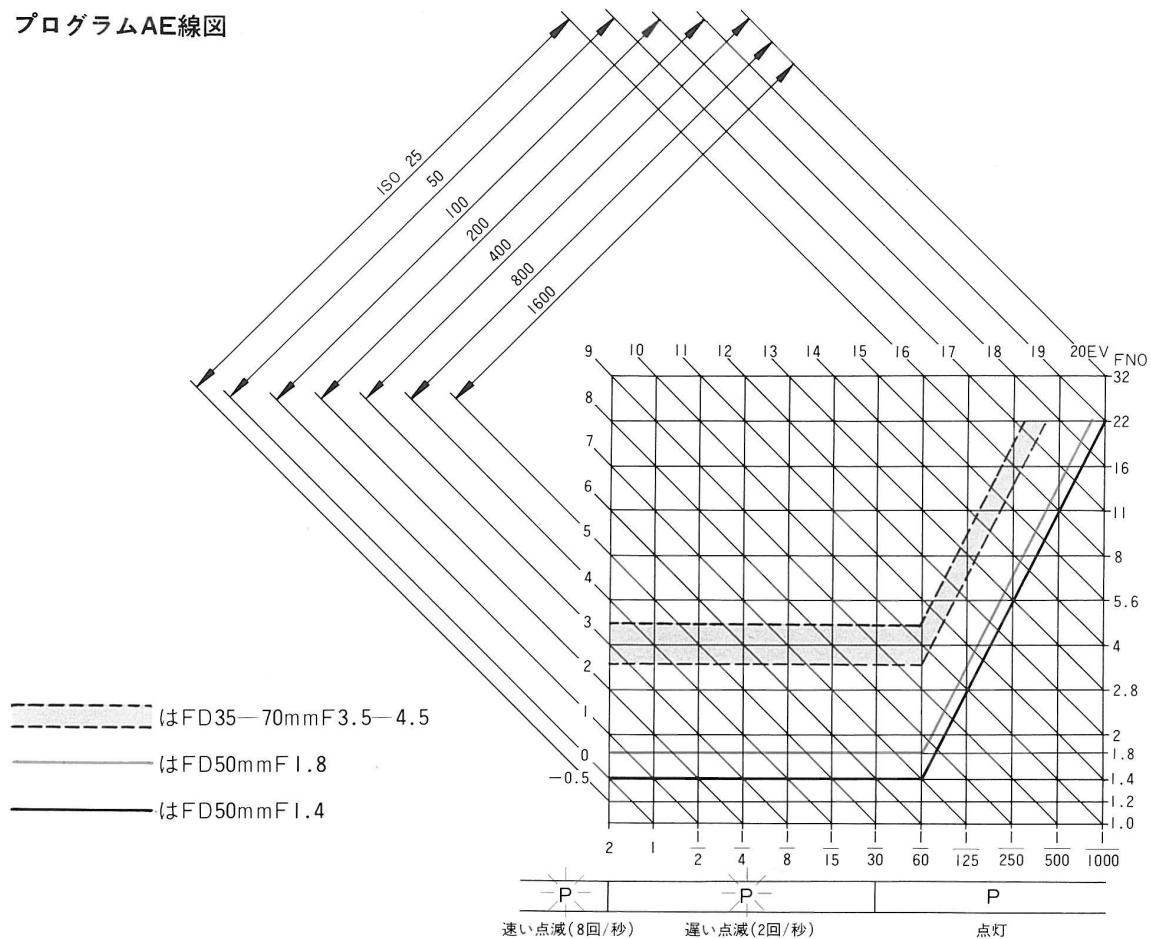
2. 速い点滅(8回/秒)……撮影できないことを警告(自動露出連動範囲外)します。

Pが点滅しなければ
撮影OK
Pの点滅には注意!

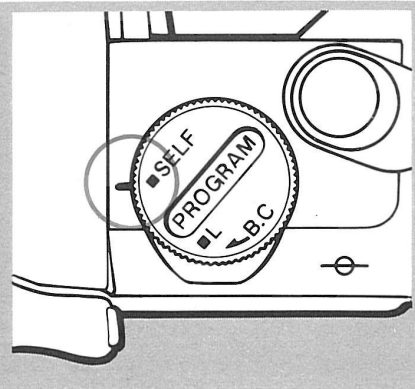
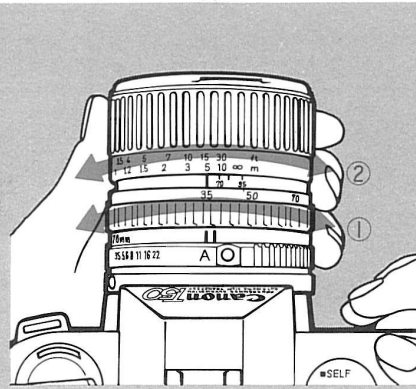
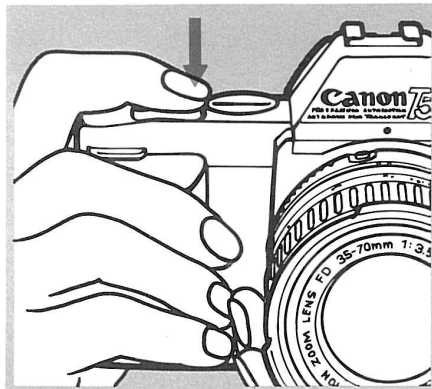


暗い場所ではPが点滅します。
Pが点滅するような暗い場所では、専用自動ストロボ・キヤノンスピードライト244Tによるフラッシュ撮影をおすすめします。(P25参照)

プログラムAE線図



セルフタイマー撮影



22

シャッターボタンを押すときは指をのせた状態からそのまま静かに押します。

1) 最初にズームリング⑨を回して構図を決め、次に距離リング⑩を回してピントを合わせます。

2) セレクターダイヤルをSELF(セルフタイマー)に合わせます。



3) シャッターボタンを押します。

4) 10秒間電子音がした後に撮影が行われます。なお撮影2秒前になると電子音は速くなります。

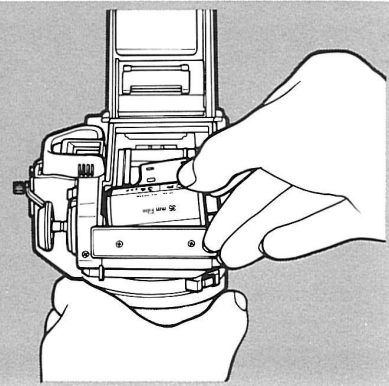
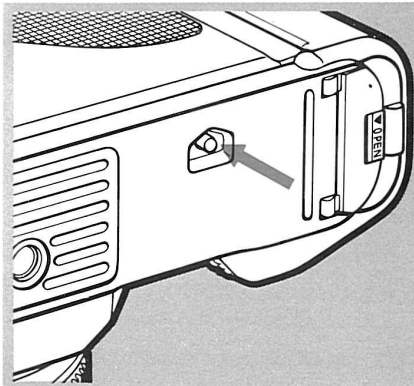
5) 撮影後は必ずセレクターダイヤルをPROGRAMに戻します。

●露出はシャッターボタンを押した瞬間に決まりますので、カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。必ずファインダーをのぞきながら押しください。

●セルフタイマー撮影を途中で止めたいときは、セレクターダイヤルをSELF位置から外してください。

11. 撮影終了後はフィルムを巻き戻します。

フィルムが終了すると巻き上げが自動停止し、フィルム終了を告げる電子音が4秒間します。



24

1) フィルム枚数計⑤でフィルムの終わりを確認し、巻き戻しボタン⑩を確実に押し込みます。

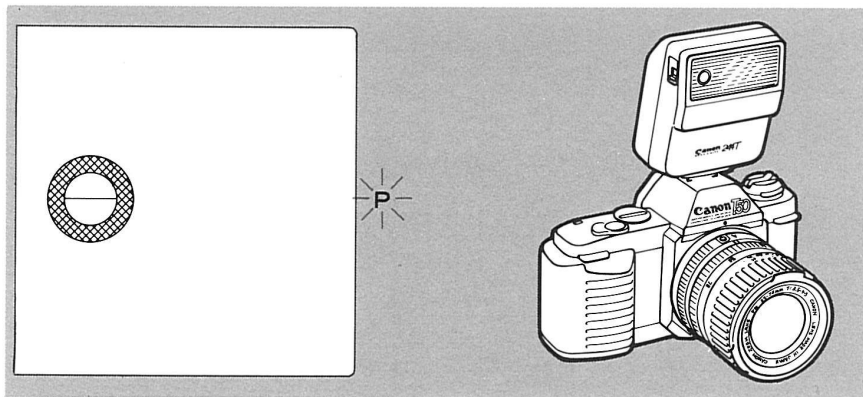
2) 巻き戻しクランク⑫Aを矢印方向に回します。

3) 巻き戻しの手ごたえが軽くなったら、裏蓋⑨を開けて、図のように左手でカメラを押さえながら、右手でフィルムを取り出します。

●フィルムが終わりになると、フィルム枚数計は最終枚数を表示します。

●機構上、まれにフィルム終了時にミラーが上がったままとなることがありますが、そのときは巻き戻しボタンを押してください。ミラーは正常に戻ります。

フィルムの巻き戻しが完全に終わるまで、裏蓋を開けないでください。



Pマークが点滅するような暗い所では専用自動ストロボ・キャノンスピードライト244Tによる撮影をしてください。キャノンスピードライト244Tを使用すれば、日中戸外の撮影と全く同じ操作でフラッシュ撮影ができます。

キャノンスピードライト244TはメインスイッチをONにするだけで撮影可能の超簡単ストロボです。軽くシャッターボタンを押してファインダー内に \mathcal{P} マークが現れば撮影OK。絞りは距離に応じて最適な値を自動セット、シャッタースピードも X 接点 (1/60秒) に自動セット、しかも写したいものが遠すぎる時は P が点滅警告 (8回/秒) します。

●キャノンスピードライト244Tは他のカメラには使用できません。

●キャノン A シリーズストロボおよび577G, 533Gを使用したときはパイロットランプの点灯と同時に、シャッタースピードは X 接点 (1/60秒) に、絞りはストロボに設定した絞り値に自動セットされます。

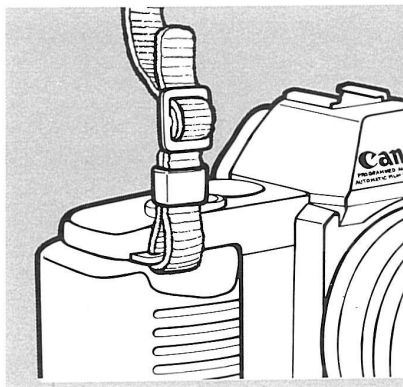
●レンズの A マークを外すとシャッタースピードは1/60秒になります。

専用ストロボ
は便利で安心

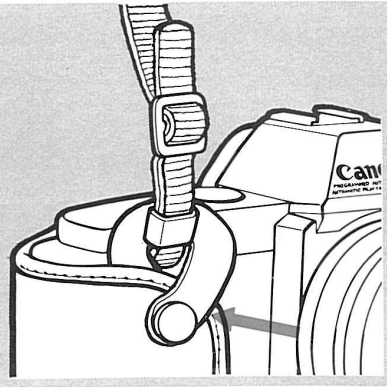


26

このカメラにはキヤノンの専用ストロボを使用することをおすすめします。特に他社の特定カメラ専用とされているストロボ（一般にホットシューに複数の接点をもつ）およびストロボ用付属品を使用するとカメラが正常機能を発揮しないことや、故障の原因となることがありますのでご注意ください。詳しい使い方は専用ストロボの使用説明書をご覧ください。



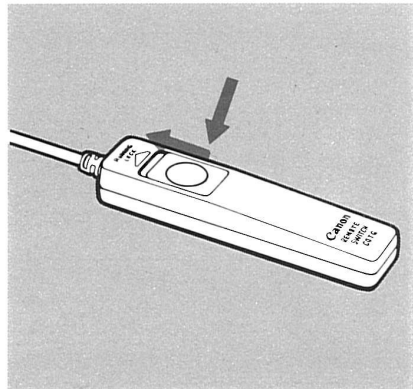
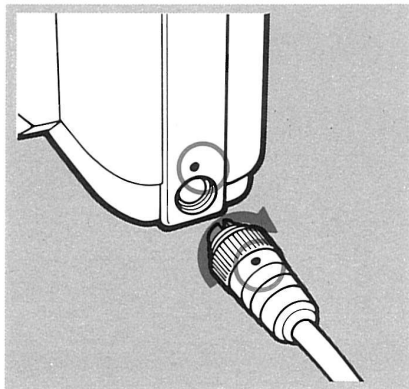
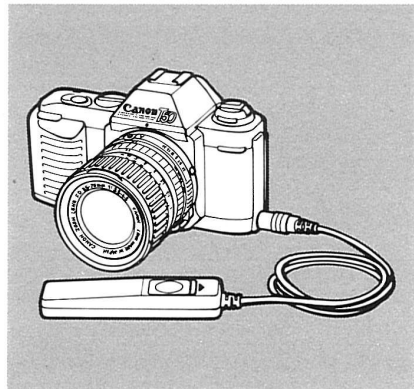
ストラップ（吊りひも）先端は止め金の外側になるように通してください。



ケースは上図のように取り付けます。ケースの上カバーをはずすときは手前に引っ張ってください。

主な付属品(別売)

遠隔撮影とリモートスイッチ60T3

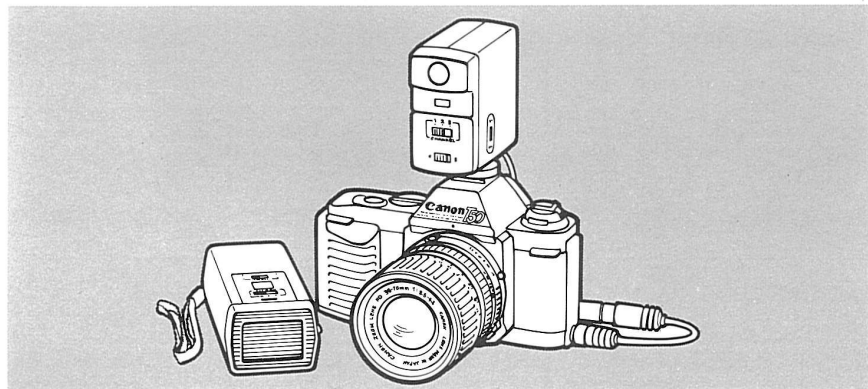


リモートスイッチ60T3はカメラのリモートコントロールジャック⑩に取り付けて使用する手元スイッチです。直接カメラに取り付ければ接写、超望遠撮影などの手振れ防止に役立ちます。別売のエクステンションコード1000 T3(長さ10m)と併用すれば遠隔連続撮影もできます。

1) 取り付けるときはリモートスイッチ60T3のプラグとカメラのリモートコントロールジャック⑩の指標を合わせて締め付けねじを回します。

2) 押すごとに撮影、さらにスライドさせるとロックされ連続撮影となります。

ワイヤレスコントローラーLC-1(コード不要の遠隔撮影)



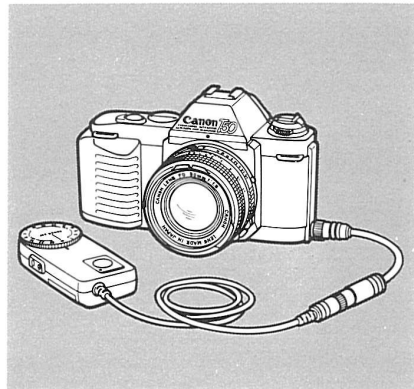
28

キャノンワイヤレスコントローラー LC-1 は赤外線利用のリモコン装置です。コードなしで撮影できるため、スポーツ、動物、その他の撮影に威力を発揮します。送信機と受信機とから構成され、受信機を取り付けてあれば何台のカメラでも同時にコントロールできます。

●ワイヤレスコントローラーLC-1、インターバルタイマーTM-1クォーツおよび従来のリモートスイッチを使用するときは、リモートスイッチアダプターT3を併用してください。

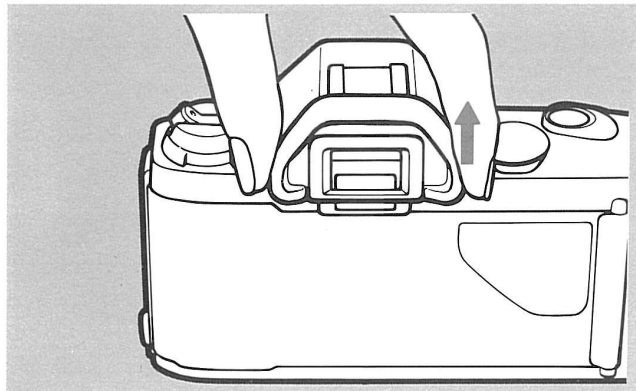
●リモコン撮影やインターバル撮影の際は逆入光防止のため、接眼部を黒テープや布等で覆ってください。

インターバルタイマーTM-1クォーツ



インターバルタイマーTM-1クォーツは、インターバル撮影をするためのアクセサリです。時間制御にクォーツを採用しているため非常に精度の高いものとなっています。動植物の観察、記録、動作分析などにご利用ください。

視度補正レンズS

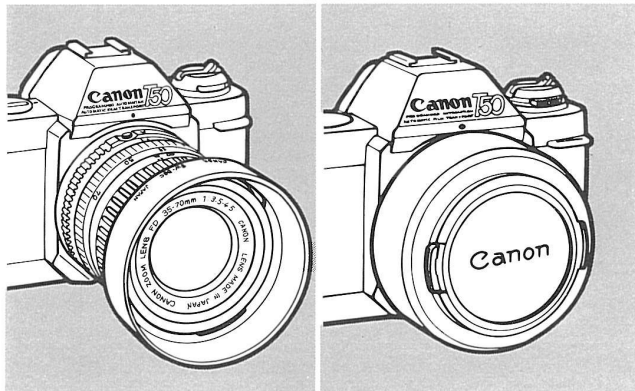


視度補正レンズを取り付ければ、近視、遠視の方でも眼鏡なしで撮影することができます。カメラ本体の視度は—ジオプターですが、交換用視度補正レンズとして10種あります。

視度補正レンズはアイカップTを外して取り付けます。アイカップTを外すときは上に抜き取ります。視度補正レンズは実際にカメラに取り付けてのぞいて確かめてから選んでください。なお視度補正レンズを付けた場合アイカップTは使用できません。

—4, —3, —2, —0.5, 0, +0.5, +1, +1.5, +2, +3(ジオプター)

フード



フードは有害光線をカットしますので、是非使用してください。

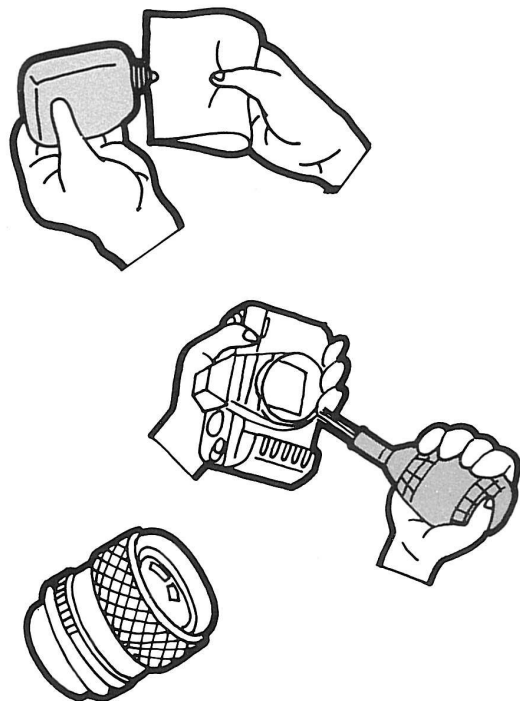
フードの取り付けは、レンズ先端のフード取り付けバヨネット⑭にはめ込んで時計方向に回すだけです。外すときは逆回しにします。

50mm標準レンズの場合は、逆向きにかぶせてキャップをすることができるようになっています。

手入れ

どんなに優れたカメラでも適切な手入れをしなければ、その性能を十分に発揮することはできません。そのため常に手入れを心がけてください。手入れ用具として、ブロワーブラシ、クリーナー液、クリーニングペーパー、シリコンクロスなどがあります。

30 レンズとファインダーはブロワーブラシで砂やホコリを吹き払った後、クリーナー液を含ませたクリーニングペーパーで軽く拭き取ってください。海辺などで使用したカメラは塩分がついていますので特によく拭いてください。カメラのミラーボックス内はブロワーブラシで吹き払うだけにしてください。どうしても拭かなければならないときは、キヤノンカメラサービスステーションにお持ちください。フィルム室内にはフィルムかすなどが付きやすいため、常にゴミを吹きはらうようにしてください。ゴミや砂があるとフィルムにすりずをつける原因になります。レール面や圧着板を拭く場合はクリーナー液とクリーニングペーパーを使用してください。その際シャッター幕には絶対に手を触れないでください。



エアポンプタイプブロワーの使用はおすすめできません。万一使用する際はシャッター幕から20cm以上離してください。

保管

カメラケースを外し、電池を抜き取って、湿気やほこりのないところに保管してください。また、カメラは長期間使用しないでおくとかびや故障の原因となることがありますので、ときどきシャッターを切るようにしてください。特に保管する場合、次のような場所はさけてください。

1) 車のトランクやリヤウインドーなどは高温になり、故障の原因となることがあるためさけてください。

2) 実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐食などの原因になるためさけてください。同様にタンスの中などもさけてください。長期間使用しなかったカメラは、各部を点検してから使用してください。

長期間使用しなかった後や、重要な撮影の前には、各部の作動をご自身でチェックしてからご使用ください。

アフターサービス

- 1.保証期間後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛りはお客様にてご負担願います。
- 2.本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、10年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。

*修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

主要性能一覧表

型 式：35mmフォーカルプレーンシャッター式一眼レフレックスプログラムAEカメラ，ワインダー内蔵

画面サイズ：24×36mm

使用レンズ：FDレンズ群

ファインダー：ペンタプリズムのアイレベル式

視野率：上下92%，左右93%

倍 率：0.83倍（50mmレンズ付き，∞状態）

ファインダー情報：3点LED表示（P，M， \mathcal{E} ）

（P）レンズAマークセット，適正露出時点灯，2Hzフラッシングは手振れ警告，8Hzフラッシングは自動露出連動範囲外警告。

（M）レンズマニュアルセット時，4Hzでフラッシング。

（ \mathcal{E} ）ストロボ充電完了信号により点灯。

測光方式：受光素子にSPC使用のTTL開放・中央重点平均測光。

*絞込み測光は不可。（FLレンズ，およびAE切り換えピンを持たない接写システムの使用は不可）

測光範囲：ISO100でEV1～18

使用フィルム感度：ISO25～ISO1600

シャッター：縦走りフォーカルプレーン式全速電子制御シャッター。

シャッタースピード：オート（1/1000秒～2秒），レンズの絞りリングをAマークから外すことにより常時1/60秒となる。

セルフタイマー：電子制御式，セレクトアススイッチをSELFにセット，時限は約10秒，電子音告知。

手振れ警告：1/30秒以下でファインダー内に表示，Pのフラッシング（2Hz）

フィルム装てん：自動装てん，シャッターボタンを押し続けることによりカウンター1まで高速（1/1000秒）自動空送り，自動停止。

巻き上げ：内蔵小型モーターによる自動巻き上げ，巻き上げ時間は約0.7秒（但し，リモートコントロールアクセサリ使用時は除く）連続撮影可能。

巻き上げ本数：（常温20℃）AM-3で50本以上，SUM-3で30本以上。

（低温-10℃）AM-3で6本以上，SUM-3で3本以上。

*36枚撮りフィルム使用

フィルム終了警告：電子音により告知。

電 源：単3型アルカリマンガン電池2本，Ni-Cd電池使用不可。

バッテリーチェック：セクタースイッチB.C位置での電子音による。

シンクロフラッシュ：X接点（1/60秒）、アクセサリ一部に直結接点あり。

フラッシュオート：キャノンスピードライト244Tにて前発光（近赤外光）後、撮影距離、被写体に応じて最適調光絞り値自動セット（F2.8, 4, 5.6）、シャッタースピード自動セット、調光連動範囲外警告あり。

Aシリーズストロボ、および533G、577G使用によりシャッタースピード（1/60秒）および調光絞り値を自動セット。

リモートコントロール：可能、3端子リモートコントロール接点あり、専用リモートスイッチ60T3使用。

大きさ・重量：150.2×87×48.4mm・490g（ボディのみ）

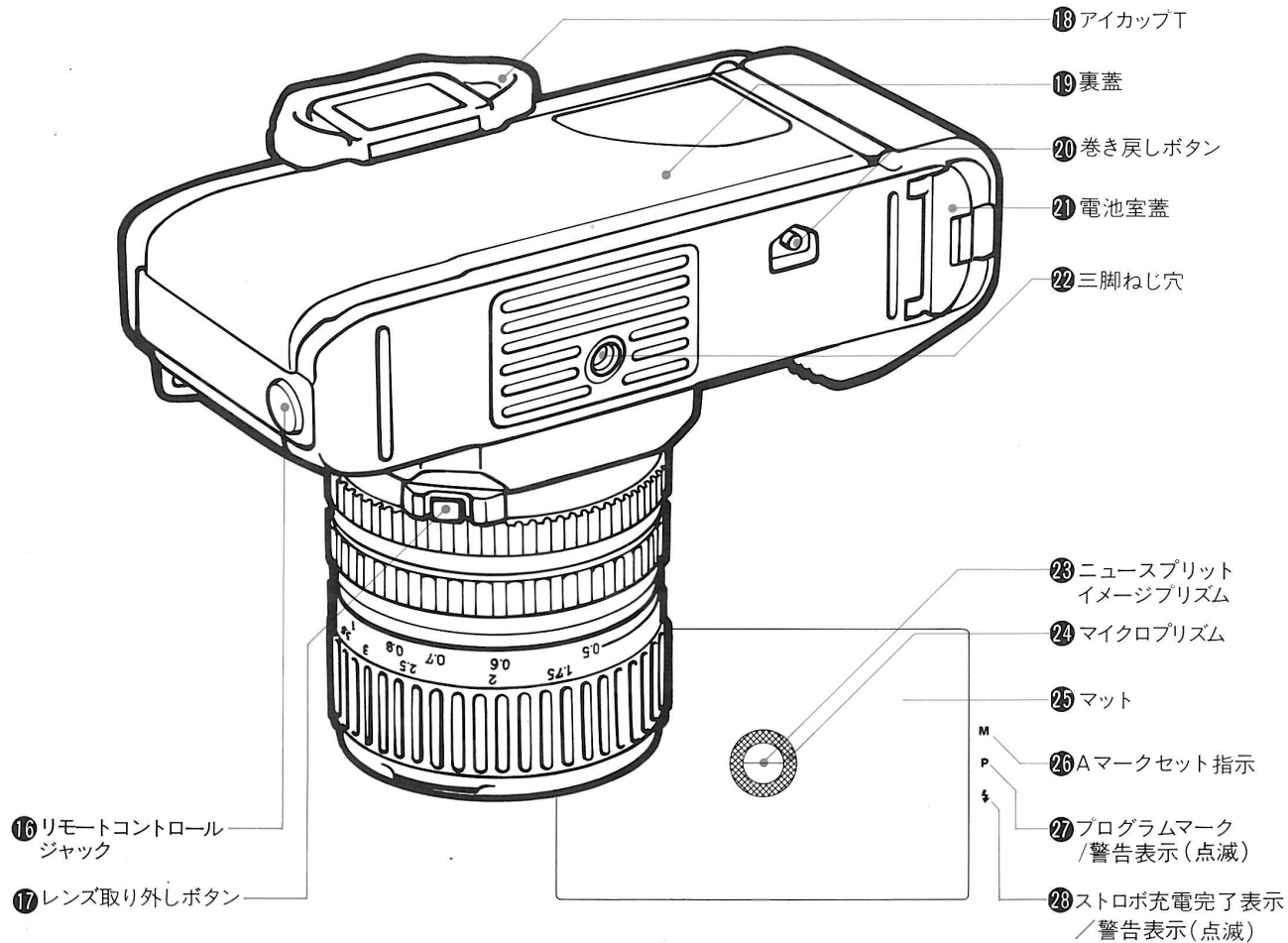
寒冷地でご使用になるときは

電池性能は低温下（0℃以下）では非常に劣下しますので、寒冷地でご使用になるときは予備電池を用意し、体温等で保温しながら交互にお使いください。なお、低温下で劣下した電池性能は、常温に戻ると復元しますので、捨てないでください。

リーダー部分の長いフィルムを低温下で使用するとき（-20℃以下）、一度パトローネ内にフィルムを巻き戻した後に再びオレンジマーク程度の長さに引き出してください。但し、フィルムはパトローネ内に全てを巻き込まないでください。

※都合により外観および仕様の一部を予告なく変更することがあります。

各部名称







キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田3-11-28
カメラ相談室 (03) 455-9353

サービスステーション

札幌	(060) 札幌市中央区北三条西4-1 (第一生命ビル4階)	(011) 231-1313
青森	(030) 青森市大字浦町字奥野351-7 (東和ビル2階)	(0177) 75-1666
盛岡	(020-01) 盛岡市上堂3-2-15 (工藤ビル)	(0196) 46-8710
仙台	(980) 仙台市一番町1-1-30 (やまと生命仙台ビル6階)	(0222) 66-4151-7
新潟	(963) 福島県郡山市開成2-38-13	(0249) 23-5618
新潟	(950) 新潟市東大通1-4-1 (マルタケビル7階)	(0252) 43-2111
銀座	(104) 東京都中央区銀座5-9-9	(03) 573-7834
新宿	(160-91) 新宿区西新宿2-6-1 (新宿住友三角ビル地下1階)	(03) 348-4725
本松	(390) 松本市双葉町10-22	(0263) 26-5549
横浜	(221) 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-4 (安田生命横浜西口ビル)	(045) 312-0211
千葉	(280) 千葉市末広2-13-2	(0472) 61-5121
大宮	(330) 大宮市大成町2-273	(0486) 66-3930
静岡	(420) 静岡市鷹匠2-7-2 (静米会館1階)	(0542) 55-2241
名古屋	(450) 名古屋市中村区名駅3-21-7 (三交ビル)	(052) 563-6822
梅田	(530) 大阪市北区梅田1-8-17 (第一生命ビル)	(06) 341-9335
京都	(604) 京都市中京区御池通間之町東入ル	(075) 241-0216
金沢	(920) 金沢市尾張町1-11-14 (住友生命ビル2階)	(0762) 32-1711
高岡	(760) 高松市番町3-3-17 (第一讀機ビル1階)	(0878) 33-2933
岡山	(700) 岡山市中山下1-9-40 (新岡山ビル5階)	(0862) 22-8228
広島	(730) 広島市中区小町2-30 (第二有楽ビル11階)	(082) 245-7791
福岡	(812) 福岡市博多区博多駅前4-20-23 (セントラルビル1階)	(092) 411-4172
沖縄	(900) 那覇市泊1-2-2	(0988) 67-2106

サービスセンター

東京	(108) 東京都港区港南2-13-29	(03) 450-2731
大阪	(540) 大阪市東区森の宮中央2-10-9	(06) 941-1076

休業の二案内

(銀座、梅田・日曜日、祝日)(新宿・木曜日)(その他・土、日曜日、祝日)

キヤノンT50の機能を十分にご活用いただくためには、
当社が設計、製造した交換レンズ及びその他の付属
品のご使用をおすすめします。

PUB.C-IJ-107M
0385B20

© CANON INC. 1982
CY8-6006-001

PRINTED IN JAPAN